



最先端重粒子線がん治療施設 建設中

大阪重粒子線施設管理株式会社

第25期 2016年4月1日▶
2017年3月31日

株主通信



SHIP HEALTHCARE

シップヘルスケアホールディングス株式会社

生命を守る人の環境づくり

証券コード：3360

マネジメントメッセージ

『成長』と『進化』はとまらない



代表取締役会長 CEO

古川 國久



代表取締役社長 COO

小川 宏隆

■ グループ理念

SHIP

Sincere (誠実な心) Humanity (「情」の心) Innovation (革新者の気概) PartnerSHIP (パートナーシップ精神)

グループミッション

生命を守る人の環境づくり

■ 基本姿勢

し せい そく だつ
至 誠 惻 怛

「至誠」はまごころ、「惻怛」はいたみ悲しむ心を表し、
この心を兼ね備えて生きることが
人間としての生きる基本姿勢であり、
当社グループの基本姿勢です。

■ 2017年 スローガン

本気でやる！今しかない。

ごあいさつ

株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループは、創業以来25年間、業界のイノベーターとして革新を生み出し成長してまいりました。現在では、業界を代表する企業集団に育ち、連結売上高1兆円を長期目標に掲げるまでになっております。これまでの既存事業の拡大とともに、自らが道を切り開き(風を起す)、他が追随できない新たな(旬)市場への対応強化が求められております。こうした中、第5の柱として「ヘルスケアサービス事業」の展開を加速させております。

現在、当社グループを取り巻く環境は、政府による医療費抑制や医療機能の分化・連携をより強固に進めて行く方針が明確となり、業界全体で大きな変革が求められております。従来の単独医療施設のリニューアルから「地域医療の再生」、「地域包括ケアシステムの構築」など地域全体がテーマとなり、より高度で多岐にわたる知見とノウハウが必要となってきております。加えて、病院の経営は、診療報酬改定などにより厳しい状況が続いており、コストパフォーマンスも重視されております。このように、新たな大きな市場が形成されると同時に、変化に柔軟かつきめ細やかな対応が重要となっております。

個々の施設から地域医療へ、日本の医療ノウハウを海外へ。今市場が動き出す中で、当社グループは、イノベーターとして新たな価値を絶えず創造し、1兆円企業に向けて着実に前進してまいります。

株主の皆さまには、今後とも変わらぬご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

売上高1兆円の企業集団に向けてイノベーションを加速

業績について

利益目標達成 (営業利益、経常利益、当期純利益)

当期の状況といたしましては、トータルパックプロデュース(TPP)事業において既存施設の機器更新需要の買い控えの影響があったものの、小西共和ホールディング株式会社との経営統合やメディカルサプライ(MSP)事業の新規案件獲得などに加え、ライフケア事業の業績回復を受け、売上高は前年同期比33.1%増の4,084億円となりました。また、収益面につきましても、新規SPD案件獲得による先行費用が発生したものの、各セグメントで増益を達成し、営業利益で14.3%増、親会社株主に帰属する当期純利益が6.4%増と、概ね期初計画値を達成いたしました。今後も1兆円企業に向けて、収益力強化に努め、筋肉質な企業体質をつくり出してまいります。なお、1株当たりの配当金につきましては、普通配当1円の増配に、創業25周年の記念配当4円を加え、60円とさせていただきます。

業績結果 (単位：百万円)

	2016/3	2017/3	増減率/額	期初予想 (2016年5月13日発表)
売上高	306,853	408,487	33.1% ↑	418,000
営業利益	14,049	16,055	14.3% ↑	15,800
経常利益	14,737	16,478	11.8% ↑	16,100
親会社株主に帰属する当期純利益	8,847	9,410	6.4% ↑	9,400
1株当たり配当金(円) 9期連続増配中	55.0	60.0 (内記念配当 4円) 配当性向 32.2%	5.0円 ↑	56.0

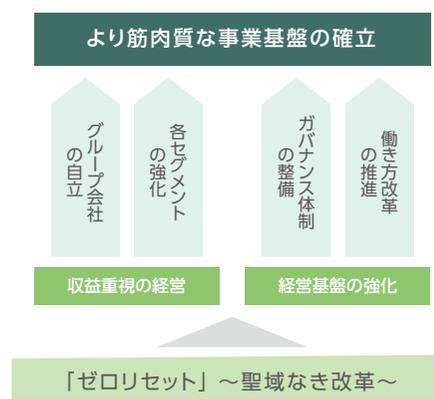
※ 2017年3月期の1株当たりの配当金は、記念配当を含め、5円の増配となっております。

グループ経営基盤の整備・強化

「ゼロリセット」による取り組み

当社グループは、成長の前提となるグループ経営・事業基盤の整備に全力で取り組んでおります。この取り組みの中で、特に力を入れてきたのがグループ会社の自立です。TPP事業におけるメーカー系介護分野を担う酒井医療株式会社は、一時業績が低迷しておりましたが、経営陣を刷新し業績の回復を成し遂げました。また、ライフケア事業におきましても、全国施設の一体型経営、不採算サービス拠点の閉鎖などをおこない大幅な収益改善に結びつけております。コーポレート・ガバナンスの強化では、本年度より社外取締役を1名増員いたしました。一方、これからの成長を支える人材の確保・育成については、理念教育を徹底すると同時に、一部の会社では月2回の特別休暇制度の導入や日々のカイゼン活動による生活向上を推進しております。こうした中で、グループ全体の方向感と業容拡大に向けた3カ年中期経営計画の策定も進めております。当社グループは、成長の加速に向け「ゼロリセット」のもと、新たな目標を設定し、その達成に取り組んでまいります。

「ゼロリセット」改革

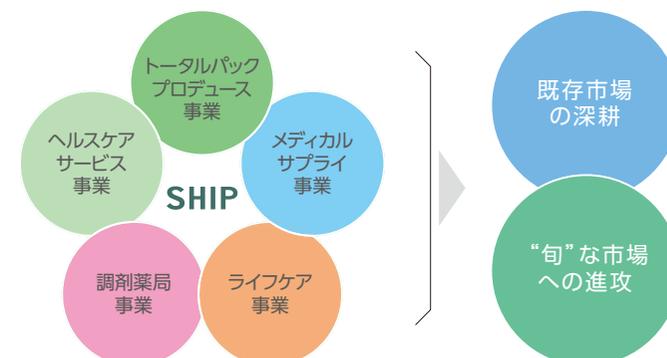


今後の方向感

各事業を強化し、高次元での融合を図る

当社グループは、ヘルスケアサービス事業を含め、5つの事業を展開しており、各事業において、既存の市場をさらに深耕し、旬に対応していくことで面の確保と次の成長の芽をつくり出しております。TPP事業における、地域医療の連携をテーマに、よりスケールの大きいプロジェクト案件の獲得、MSP事業における、小西共和グループとの経営統合及び空白地への対応を強化、ライフケア事業・調剤薬局事業における収益改善と、事業間のシナジー創出を進めております。加えてヘルスケアサービス事業では、医療施設の運営や海外事業の推進、ヘルスケア専門リート、重粒子などに積極的に取り組んでまいります。

当社グループは、こうした取り組みを通じて各事業をさらに強化し、高次元でシナジーを発揮することで、グループ全体の価値を高めてまいります。



トピックス

第5の柱 「ヘルスケアサービス事業」 を本格展開

当社グループは、従来からの4事業に加え、次のステージに向けた成長戦略の要として第5の柱「ヘルスケアサービス事業」を育成してきました。近況においては、それらヘルスケアサービス事業の準備が順調に進捗するとともに、各サービスの担当会社・セクションを定め、本格展開を加速しております。

先端医療サービス

重粒子線がん治療施設

2015年8月に着工いたしました重粒子線がん治療施設の建設が順調に進み、本年9月に完成予定です。同施設は、先端医療である重粒子線がん治療を国民に提供すると同時に、日本のヘルスケアにおけるインバウンドの一角を担うべく計画されたものです。このため、隣接する大阪国際がんセンター（2017年3月に移転・開院）と当社グループのメディカルツーリズム事業が業務提携をおこなうなど計画を進めております。



建物内 確認風景

海外事業

バングラデシュプロジェクト

2016年2月に調印いたしましたバングラデシュの病院建設・運営プロジェクトが本格的に動き出します。2017年4月に建設会社との契約を締結し、5月より工事を開始。現地の子会社を通じて、日本式の高度な医療施設運営ノウハウの導入を進めていきます。このように当社グループは、これまで国内で培ってきた実績・経験をもとに、海外市場での事業展開を積極的に推進してまいります。



建設会社との調印式

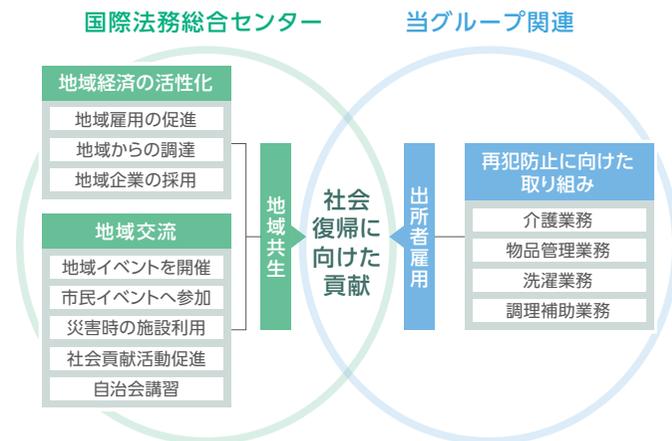


着工式

PFI事業

国際法務総合センター 維持管理・運営事業

2016年10月に、グリーンホスピタルサプライ株式会社（GHS）が落札いたしました国際法務総合センター内において、矯正医療センターの維持管理・運営事業が動き出しています。同事業においては、GHSを代表企業とするコンソーシアム参加企業が今後10年にわたり、医療機器の販売・保守、給食・食事の提供、SPD業務などを手掛けます。さらに、同コンソーシアムの運営理念にもとづき、被収容者の地域交流・出所後の雇用支援などもおこなってまいります。このように、当社グループは、サービス事業として、施設の維持管理・運営などのソフト領域にも注力してまいります。



全社を挙げて、 「エアネス」の販売を推進

当社グループが独占販売権を持つ
低濃度オゾン発生装置「エアネス」の販売が進む。

この度、高知市に所在する愛宕病院さまに、約900台をご導入いただきました。愛宕病院さまは、1966年に急性期病院としてスタートし、現在は病床数562床を擁する、脳神経外科をはじめ複数の診療科を展開している病院です。患者さま・ご家族から院内のにおいに対するご指摘や院内感染への問題意識から、空気環境へのこれまで以上の配慮が重要とご判断されました。その結果、消臭や除菌（大腸菌や黄色ブドウ球菌、MRSA、ノロウイルスやインフルエンザウイルス）効果が高く、ランニング費が少ない低濃度オゾン発生装置「エアネス」が選ばれました。今では各病室、汚物処理室、手術室、ロビーなどに「エアネス」が設置されています。当社グループは、今後も病院・介護施設などに「エアネス」を提案し、より清潔で快適な環境をつくり出してまいります。

Airness



■ 本製品に関するお問い合わせ

シップヘルスケアファーマシー東日本株式会社
連絡先: 0120-757-561 (専用フリーダイヤル) / 022-375-7561



病室内の設置風景



ロビーの設置風景

フードサービス事業の 新展開

医療機関をメインに展開していたフードサービス事業が
高齢者施設向けの食事提供トータルサービスを新たに展開。

シップヘルスケアフード株式会社では、従来の医療機関向け食事サービスに加え、高齢者施設向けの食事提供トータルサービス「ドリームキッチン」を開始いたしました。ドリームキッチンは、高齢者の健康を考えた栄養バランスはもちろんのこと、365日、毎日の食事が楽しくなるように、おいしさと手作りの味わいをとことん追求しています。また、簡易な調理や無駄をなくすことで施設運営面での労働負荷・コスト削減なども可能にし、効率の良い安定した施設運営の実現を支援します。当社グループは、このように培ってきた実績・ノウハウをもとに、事業の横展開を進めてまいります。

■ 5つのこだわり

体にやさしく、おいしく

定額制でお手頃価格

調理や管理がカンタン

衛生的で安心・安全

運営コストの削減



和食メニュー例(昼)



洋食メニュー例(昼)

ガンバ大阪と ダイヤモンドパートナー契約を締結

この度、新たにダイヤモンドパートナー契約を締結しました。

2013年よりゴールドパートナーとして、ガンバ大阪を応援してきましたが、2017年1月15日にダイヤモンドパートナーとしての契約を締結し、2月1日より、J1リーグで着用する公式ユニフォームにシップヘルスケアのロゴが掲出されるようになりました。当社グループは、皆さまのご支援をもとに成長してきたグループです。その感謝の気持ちを込めて、同じ大阪府吹田市発祥であるガンバ大阪の支援をおこなってまいります。また、ガンバ大阪の選手の方々には、当社グループの酒井医療株式会社が販売しています、高周波温熱機器「フィジオラジオステム」及び拡散型圧力波治療器「フィジオショックマスター」もご活用していただき、チーム、選手ともにサポートしてまいります。



調印式
左:ガンバ大阪 山内社長
右:当社 古川



公式ユニフォーム上のロゴ

CSR活動

地域から国際社会まで、幅広く社会貢献活動を実施

当社グループは、社会と共生する企業集団として、身近な地元から国際社会まで、人々がより豊かに、快適に生活できる環境づくりに貢献してまいります。

Bio Medical Engineer(BME)育成プログラムの構築

海外事業を新興国で展開する上で、最大の課題は人材です。当該国・地域での医療機器の操作管理に精通する臨床工学技士(ME)を育成しなくては、優れた機器・装置の安定的な稼働ができません。経済産業省及びMEJ(Medical Excellence JAPAN)のご協力のもと、当社グループでは、高度な技術を持つ日本式医療の浸透のため、下記の活動を通じて、現地の医療体制の整備に貢献してまいります。

バングラデシュ

大阪滋慶学園とコンソーシアムを組み、当社の事業パートナーであるアイチホスピタル、ホサイン医師の協力を得て、医療技術者養成校の開校をサポート。同校において日本の臨床工学のカリキュラムを取り入れたBME学科を設立すると同時に、当社グループが運営する日本式医療施設での臨床研修をおこなってまいります。現在、バングラデシュでは、民間病院を中心に医療機器整備が進みつつありますが、これを運用する人材が不足しており、このような活動を通して、人材の育成をサポートしております。



病院内の視察



ディスカッション風景

ミャンマー

当社グループは、ミャンマーにおいて2012年以降、市場調査活動をおこなってきましたが、同国においても医療従事者不足は深刻であり、特に、同国にMEが存在しないことが日本製医療機器普及の妨げとなっています。医療機器管理の重要性や資格制度などの啓蒙活動や医療技術者の養成学校整備をサポートするなど、ミャンマーの医療人材育成に貢献しております。



会議風景



学生募集リーフレット

地域との共生を大切に

社会の発展とともに成長してまいりました当社グループは、本業のみならずCSR活動を通じて、より豊かで快適な生活環境づくりに取り組んでおります。近隣の清掃や街の美観保全、また、本社周辺のプランター整備など幅広く活動しています。このようなボランティア活動を通じ、自発的に進んでおこなう心持を養い、グループミッションである「生命を守る人の環境づくり」にもより積極的に取り組んでまいります。



清掃風景

業績の概要

■ 主要経営指標の推移 [日本基準] (連結)

(単位: 百万円)

	2013/3	2014/3	2015/3	2016/3	2017/3	2018/3(予想)
売上高	224,363	259,189	273,327	306,853	408,487	425,000
営業利益	12,544	13,857	13,597	14,049	16,055	16,900
経常利益	13,589	14,754	13,910	14,737	16,478	17,100
親会社株主に帰属する当期純利益	8,589	8,523	7,472	8,847	9,410	10,000
総資産	144,389	173,393	202,562	218,456	263,540	—
純資産	42,547	47,621	75,864	81,522	93,632	—

■ セグメント情報 (2016年4月1日~2017年3月31日)

トータルパックプロデュース事業

トータルパックプロデュース事業におきましては、一部の既存施設における機器更新需要で買い控への影響を受けましたが、介護系メーカーの業績がV字回復するとともに、プロジェクト案件も計画通り進捗いたしました。
以上の結果、売上高は95,245百万円(前連結会計年度比6.8%減)、セグメント利益(営業利益)は9,889百万円(前連結会計年度比2.1%増)となりました。

メディカルサプライ事業

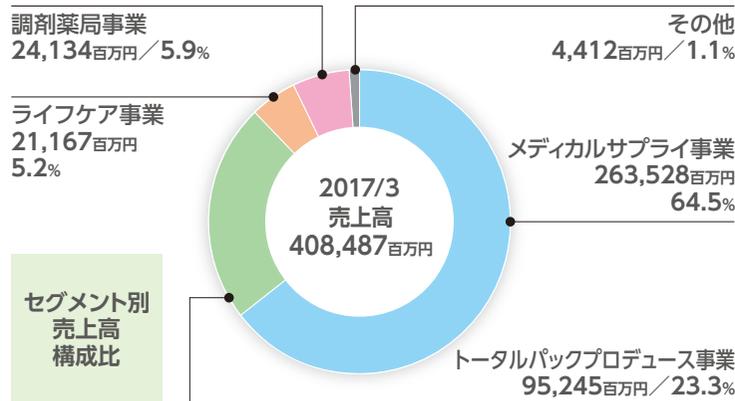
メディカルサプライ事業におきましては、新規SPD施設の受託件数が増えたことなどから一時的に導入費用が増加したものの、小西共和ホールディング株式会社との経営統合により増収増益となりました。
以上の結果、売上高は263,528百万円(前連結会計年度比66.6%増)、セグメント利益(営業利益)は3,318百万円(前連結会計年度比44.3%増)となりました。

ライフケア事業

ライフケア事業におきましては、入居率が改善するとともに、全国施設の一体型経営による業務改善、不採算デイサービス閉鎖などを実施したことにより大幅に収益が改善いたしました。
以上の結果、売上高は21,167百万円(前連結会計年度比5.9%増)、セグメント利益(営業利益)は634百万円(前連結会計年度比318.6%増)となりました。

調剤薬局事業

調剤薬局事業におきましては、薬価改定の影響があったものの、既存店効率化やかかりつけ薬局認定の進捗も奏功し、業績は順調に推移いたしました。
以上の結果、売上高は24,134百万円(前連結会計年度比1.8%減)、セグメント利益(営業利益)は2,284百万円(前連結会計年度比0.4%増)となりました。



セグメント別
売上高
構成比

株式関連情報

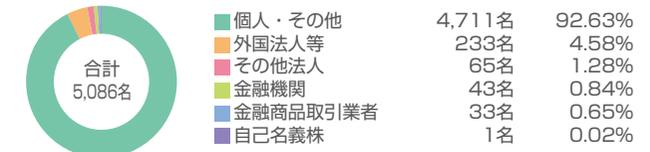
(2017年3月31日現在)

■ 株式の状況

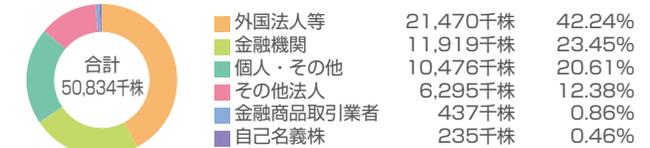
発行可能株式総数	64,000千株
発行済株式総数	50,834千株
株主数	5,086名

■ 株式分布状況

株式分布状況 (株主数別)



株式分布状況 (株式数別)



※ 株式数は、千株未満を切り捨てて表示しております。

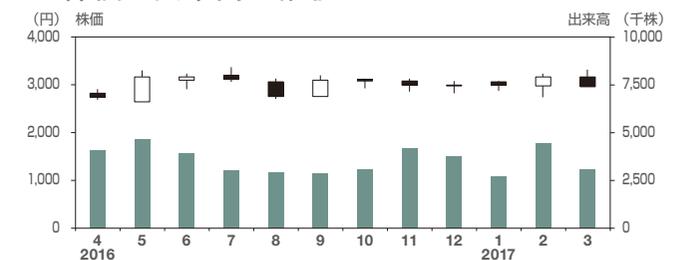
■ 大株主の状況

[保有株式数] [持株比率]

CBNY-ORBIS SICAV	4,207千株	8.31%
株式会社ココロー	3,988千株	7.88%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,548千株	5.03%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,333千株	4.61%
春日興産合同会社	1,400千株	2.76%
THE CHASE MANHATTAN BANK 385036	1,282千株	2.53%
古川 國久	1,236千株	2.44%
古川 幸一郎	1,230千株	2.43%
CBNY-GOVERNMENT OF NORWAY	1,095千株	2.16%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	1,058千株	2.09%

※ 株式数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
※ 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

■ 株価・出来高の推移



会社情報

■ 会社概要 (2017年3月31日現在)

商号 シップヘルスケアホールディングス株式会社
設立 1992年8月
代表取締役会長 CEO 古川 國久
代表取締役社長 COO 小川 宏隆
資本金 155億5,301万円
決算月 3月
従業員数 連結 5,674名(正社員) 10,552名(従業員)
本社所在地 〒565-0853
大阪府吹田市春日3丁目20番8号
TEL : 06-6369-0130
FAX : 06-6369-3191

■ 役員 (2017年6月29日現在)

代表取締役会長 CEO	古川 國久
代表取締役副会長	小西 賢三
代表取締役社長 COO	小川 宏隆
代表取締役副社長	大橋 宏太
取締役副社長	沖本 浩一
専務取締役	増田 順行
専務取締役	小林 宏行
取締役	横山 裕司
取締役	早川 澄
取締役(社外)	和田 義昭
取締役(社外)	佐野 精一郎
常勤監査役	細川 治
常勤監査役(社外)	岩元 廣志
社外監査役	中尾 秀光
社外監査役	大山 博康
社外監査役	大内 陽一郎

お問い合わせ・資料請求等は、下記まで・・・

シップヘルスケアホールディングス株式会社

〒565-0853 大阪府吹田市春日3丁目20番8号
TEL : 06-6369-0130 (IR窓口) FAX : 06-6369-3191

URL (ホームページアドレス)

<http://www.shiphd.co.jp/>



株主メモ

事業年度 4月1日～3月31日
期末配当金受領 3月31日
株主確定日 3月31日
定時株主総会 毎年6月中
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
及び特別口座の口座管理機関 2015年10月1日をもって特別口座の口座管理機関を変更しております。なお、株主名簿管理人については変更ございません。
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL 0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所 東京証券取引所
公告の方法 電子公告によりおこなう
公告掲載URL <http://www.shiphd.co.jp>
(ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



IR Info ▶ In-depth Company Report Link to Shared Research

For Foreign Investors

SHIP HEALTHCARE HOLDINGS, INC. provides English financial report produced by Shared Research Inc.

Please check

<http://www.sharedresearch.jp/en/3360>

to view the report.

アンケートのお願い

当社では、株主の皆さまからいただいたご意見を誠実に受け止め、今後の経営及びIR活動に活かしてまいりたいと考えております。皆さまからの貴重なご意見をお待ちしております。なお、本アンケートを当社ディスクロージャーの充実以外の目的には利用しないことをお約束いたします。

Q1 当社株式をいつ頃ご購入されましたか?

- ① 1ヶ月以内
- ② 2～5ヶ月前
- ③ 6ヶ月以上前
- ④ 1年以上前
- ⑤ 株式上場時(2005年2月)

Q2 当社株式の今後の保有方針をお教えてください。

- ① 中長期的に保有する
- ② 短期で考えている
- ③ 買い増しする
- ④ 投資収益に応じて売却する
- ⑤ 未定

Q3 当社経営に関して、何を重視すべきと思われますか? (上位3点をお選びください)

- ① 規模の拡大
- ② ビジネスモデルの強化
- ③ 経営の効率化
- ④ 収益性
- ⑤ 安定性
- ⑥ 株主政策の強化
- ⑦ その他()

Q4 当社のIR活動に関して、何を重視すべきと思われますか?

- ① 株主通信
- ② ホームページ
- ③ 株主総会
- ④ 個人投資家向け説明会の開催
- ⑤ その他()

Q5 今回の株主通信でご興味を持たれた内容は何ですか?

- ① マネジメントメッセージ
- ② トピックス
- ③ CSR活動
- ④ 業績の概要
- ⑤ 株式関連情報及び会社情報

Q6 今回の株主通信をどのようにご評価されますか?

- ① 大変満足している
- ② ある程度満足している
- ③ 普通
- ④ あまり満足していない
- ⑤ 不満である

Q7 その他、ご意見・要望等をご自由に記入ください。